

会議録要旨

(1) 会議の名称	第7回 越前市中心市街地活性化基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成28年6月8日(水曜日) 午後7時～午後9時
(3) 開催場所	越前市役所 2階 大会議室
(4) 出席委員氏名	野嶋委員長、金田副委員長、西藤委員、黒田委員、山口委員、村田委員、藤谷委員、清水委員、小形委員、坂口委員、梅田委員、石井委員、三崎委員、河端委員、寶田委員、田中委員
(5) 欠席委員氏名	能勢委員、長田委員
(6) 出席オブザーバー氏名	福井県 都市計画課 深水主任 丹南土木事務所道路課 久野課長
(7) 出席所管課職員職氏名	産業環境部・建設部 小泉理事 都市計画課 平野課長、松村副課長、江端主幹 中谷主幹 商業・観光振興課 川邊副課長 建築住宅課住宅政策推進室 三田村室長
(8) 会議議題	報告協議事項 (1) 第6回策定委員会の結果について (2) 内閣府協議について (3) 中心市街地活性化基本計画【概要版】について
(9) 傍聴者の数	2名
(10) 会議資料の名称	資料1 第6回策定委員会会議録要旨 資料2 中心市街地活性化基本計画【概要版】
(11) 会議の内容の要旨	<p>■委員からの主な意見</p> <p>【シンボルロードに関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前のシンボルロード沿いは、店舗が少ない。キッチンカー等設置可能な形態にすると、徐々に店舗が増えるかもしれない。 ・ 中心市街地にはシンボルロードというメインストリートがあり、その先に総社があるというところを押し出し、景観デザインも重視する必要がある。 ・ 歴史を感じるまちというコンセプトに基づき、シンボルロードもそのコンセプトが伝わるよう景観などアイキャッチをしっかりとさせることが大事。 ・ シンボルロードを含めデザインガイドラインを作成する必要がある。 <p>【新庁舎の広場の仕様】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎のシンボルロード沿いの広場でイベントをする際に、上下水道や電気の整備がないと屋台を出せないという問題がある。上下水道や電気が整備された体制をとることを検討してほしい。 ・ 新庁舎の広場は、雪や雨の際にも使えるスペースがあるとよい。 ・ 新庁舎の広場に関しては、緊急災害時に対応できることも考えるべき。 <p>【中心市街地内の駐車場に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎の広場の利用、シンボルロードの活用など、イベントなどの賑わいを創出する場は増えてよいが、少し離れたところから車を利用する方に対する駐車場の確保を考える必要がある。 <p>【他の商店街における課題対応】</p>

- ・総社通り商店街ではアーケードの撤去が決まり景観整備が進められるが、今後、他の商店街においても、アーケードの老朽化、補修・点検が難しくなっていくことが発生すると思う。

【新庁舎のコンセプト】

- ・新庁舎に関して、広場の基本的な考え方は良いと思う。庁舎に関しては防災面だけでなく、環境性能評価に準じた施設とし、環境に配慮された施設が中心市街地の中心に位置するというコンセプトがあると周辺企業としても価値観が高くなっていくと思う。

【開業店舗の継続支援】

- ・施策によるまちなかの開業件数に関して、新しい店が出来ても、長続きする店はかなり少ないように感じる。開業した店舗が続けられるような支援も大切。

【民間投資の誘導】

- ・民間の投資を呼び込むために、例えば駅前で土地区画整理事業を進めるなど投資を呼び込むような施策を打つべきではないか。新幹線の駅は離れてしまうので、在来線の駅前は衰退してしまうのではないかと危惧する。

【来訪者の視点に立った対応】

- ・まちなかへ行っても公衆トイレが少ない。人を呼び込むという点では、賑わいの場づくりも大切だが、来訪者の視点での対応を考えることも必要。

【企業誘致】

- ・産業の活性化も必要であり、もっと企業を誘致して盛り上げる必要がある。企業を誘致することで、市内での生活者も増え、消費活動や不動産取引、税収等の活性化につながると考える。

【観光】

- ・観光協会としては和紙と打刃物と箆笥の世界に誇る技の産地がここ越前市にあるというコンセプトの下、活動している。

(11) その他

特になし